

# 聖火リレールート選定の基本的な考え方

(組織委員会)

①日本全国47都道府県を回り、出来るだけ多くの人々が見に行くことができるルート

②安全かつ確実に聖火リレーが実施できる場所

③地域が国内外に誇る場所や地域の新たな一面を気付かせる場所

—オリンピックやスポーツゆかりの場所、世界遺産や文化遺産、地域の人々が誇る観光地や景勝地など地域の特色や思いを国内外に発信できる場所

④聖火が通ることによって人々に新たな希望をもたらすことができる場所

—被災などの困難に遭い復興に向けて努力している場所や、被災時に国内外から支援を受けた場所  
—地域の若者による新たな取組で、賑わいを取り戻してきている商店街 など